



いのせ
猪瀬 朱美 議員
(未来の佐野を明るくする会)



高齢者の買い物支援について

Q 高齢者が増える中、今後買物支援を拡充していくべきだと考えるが、当局の見解を伺いたい。

A 市長

住民主体のサービスの拡充を考えています。地域の実情により困難な場所や実施までに時間がかかるなど、思うように進まないことも懸念されますが、社会福祉協議会に委託している生活支援コーディネーターによる住民団体等への働きかけなどに積極的に取り組んでいきます。

また、近年はネットスーパーやネット販売などの仕組みも充実し、外出せずに必需品を購入できるようになってきています。こうした仕組みを活用してもらい、今後、高齢者の身体的、社会的状態に合わせた適切なサービスの提供に努め、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を安心して営むことができる社会を目指し、施策を進めていきます。



おおやま
大山 圭司 議員
(政友みらい)



ドローンの活用について

Q 災害時に、物価投下30kg級の大型ドローンの導入を検討してはどうかと考えるが、本市の考えを伺いたい。

A 消防長

現在、消防本部では約2kgの物件の搬送、投下が可能なドローンを運用し、水難救助活動において救命用浮き輪の搬送、投下などに活用しています。

30kg級の物件投下を目的とした大型ドローンの購入については、消防、救助活動の現状での活用が限定的であることに加え、災害協定により必要に応じて連携できる体制を整えているため、現時点では導入の必要性は低いものと認識しています。

しかし、ドローン技術の進展や孤立地域への支援手段としての活用が注目されている現状を踏まえ、今後関係機関の事例や技術動向を注視しつつ、導入の必要性について調査研究を進めていきたいと考えています。

その他の質問

☆市職員の現状について



いのう
慶野 常夫 議員
(政友みらい)



重度心身障がい者の医療費について

Q 本市では、重度心身障がい者の医療費は償還払いとなっている。現物給付の実施については、持続可能な財政運営の観点から慎重に行っていかなければならないと思うが、栃木県内どの地域に住んでも同じ条件で受診できるよう、現物給付を実施してほしいと思うが、本市の考えを伺いたい。

A 市長

本市においては、障がい福祉に限らず、福祉サービスに係る一般財源は年々増加傾向にあり、持続可能な財政運営等の課題もありますが、重度の障がいがある方やそのご家族のために、現物給付の実現に向けた検討を行っていききたいと考えています。

その他の質問

☆通学時の児童を暑さから守る取り組みについて
☆特定外来生物クビアカツヤカミキリについて

